



市民ツバメ調査結果まとめ





令和5年4月から8月にかけて行った、「市民ツバメ調査」に御協力いただき、ありがとうございました。

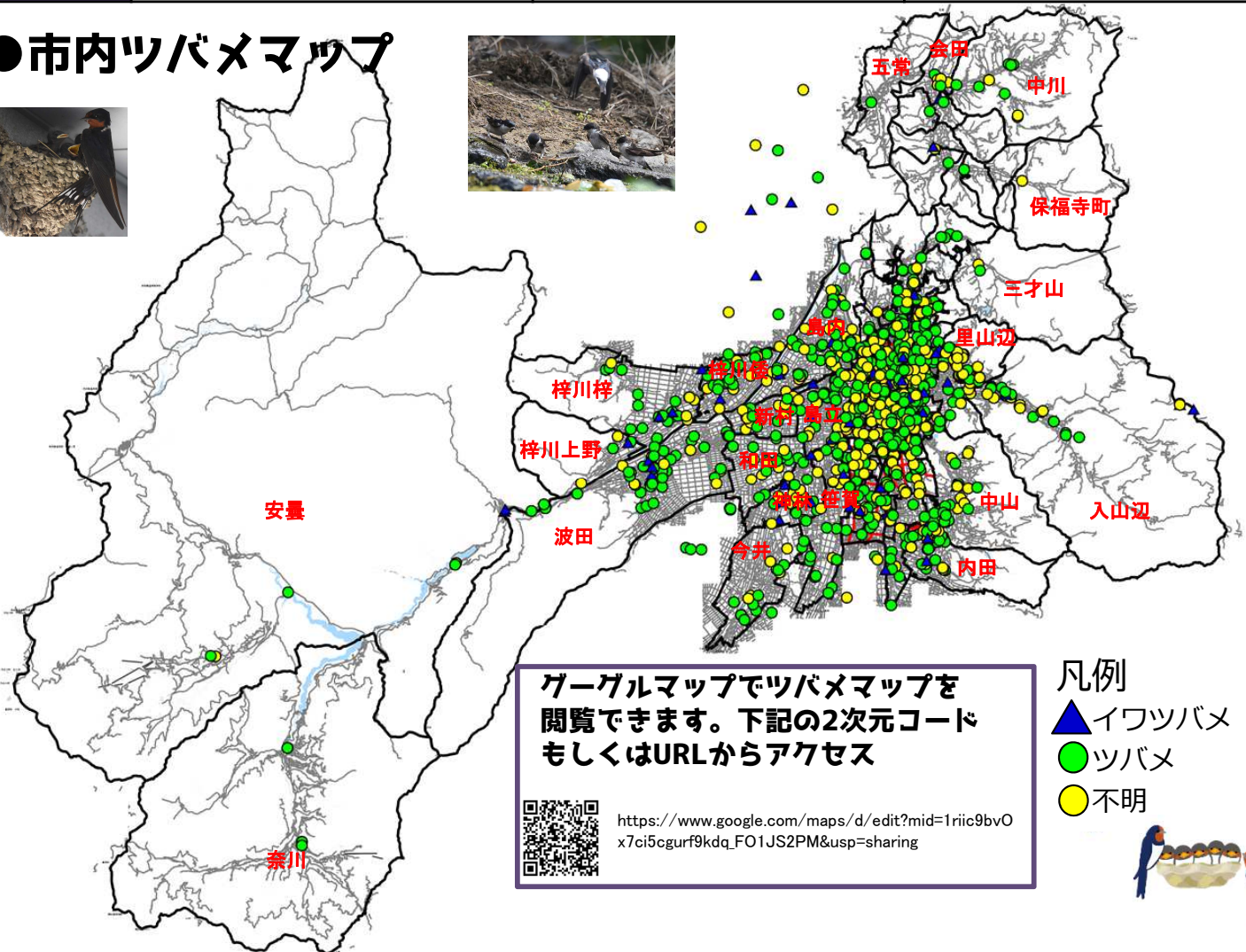
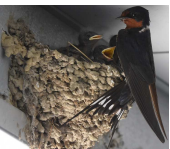
調査の結果をまとめましたので、御報告します。



- 調査期間 令和5年4月1日(土)から8月31日(木)まで
- 報告件数 . . . 1279件(前回調査H30年186件)
- 報告者数 . . . 922人・団体(H30年42人・団体)

種類			?
	ツバメ(ツバメ科)	イワツバメ(ツバメ科)	不明(ツバメの種類が分からない)
報告件数	748件 (巣は見えていない321件)	91件 (巣は見えていない42件)	440件 (巣は見えていない237件)
巣があった場所	戸建、ビル、車庫、高速道路下など	公共施設、橋、駅、学校、歩道橋、戸建など	戸建、ビル、駅など

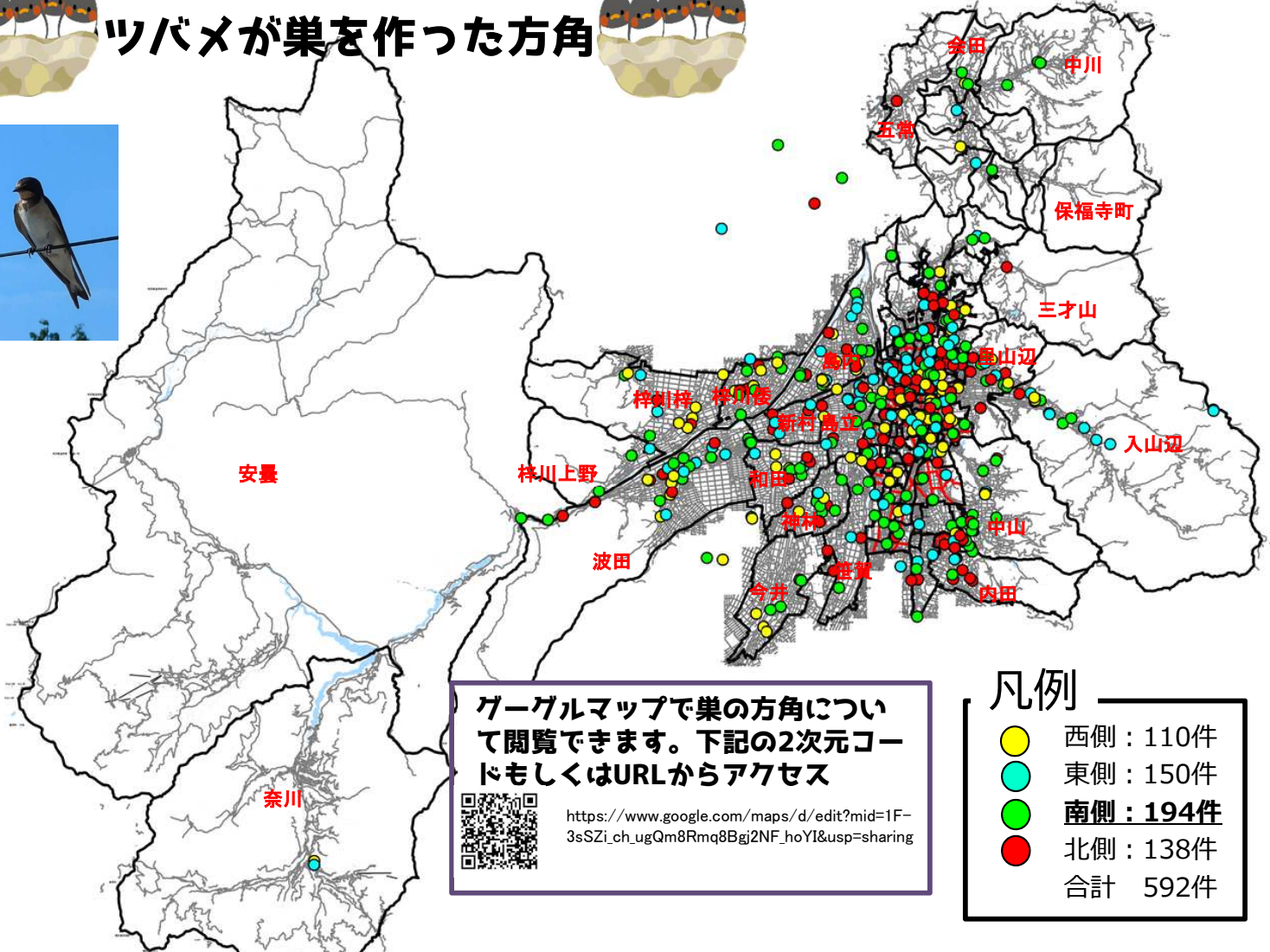
●市内ツバメマップ



- 凡例
- ▲ イワツバメ
 - ツバメ
 - 不明



ツバメが巣を作った方角



グーグルマップで巣の方角について閲覧できます。下記の二次元コードもしくはURLからアクセス



https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1F-3sSZi_ch_ugQm8Rmq8Bgi2NF_hoYI&usp=sharing

5年前の調査では建物北側に巣を作るツバメが一番多く、次いで南側という結果でしたが、今回の調査では、建物南側が一番多く報告されました。以下のような可能性が考えられます。

- 1 一般的に戸建住宅は南向きに建てる事が多く、南北に軒がある。このためツバメが巣を作りやすい環境が南北方向に多かった。
- 2 今回報告が多かった建物の南側は天敵（カラス、ネコ、アオダイショウなど）から身を守れる環境が多かった可能性がある。
- 3 南側の軒下は他の場所に比べ暖かいため、ツバメに好まれた。

今回の結果だけでは断定できないため、次回は巣の周辺環境（車や人通りのある場所に面しているか）について確認する項目を設け、引き続き調査を行います。

今回報告方法に郵送とウェブ報告フォームによる報告に加えて松本市公式LINEからの報告を導入したところ、前回（H30）調査報告数186件から大幅に増加した1279件の報告をいただくことができました。

前回に引き続きイワツバメの報告は全体の割合から見ると少ないですが、これまで報告がなかった歩道橋や駅などからの報告がありました。

ツバメ、イワツバメともに田畑や川、池の近くなど巣の材料と餌が身近なところで手に入るところに目撃、巣ともに多い傾向がありました。

令和6年度はトンボ調査を行います。ぜひ来年もご協力ください！

お問い合わせ

松本市役所 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課

環境政策担当（東庁舎4階）

〒390-8620 松本市丸の内3-7 ☎34-3268

e-mail : s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp

多くの方がツバメに関する感想や思い出を送っていただきました。

- ・コムハウスには、毎年ツバメがやってきます今年も見かけました。巣はコムハウスの敷地内に毎年作り巣立ちを見守っています。
- ・数年前から家にツバメが巣を作って雛を育てています。何度かカラス、ヒヨドリ、トビにやられてしまいました。昨年守る為に色々調べて、対策したところ巣立ちまで守る事ができました。巣を作っても対策をしないと、天敵にやられてしまう事が多いのだと思いました。
- ・毎年巣作りしてます。来ない時は心配してます。
- ・四賀福寿荘という福祉施設には、まるでツバメの楽園のようにツバメが来訪して多くの巣を作り、子育てをして巣立ちに行きます。
- ・孫達が小さい時につばめの巣から覗くヒナが可愛くて、良く見に行きました。汚れるのを嫌がられ、壊された巣があると子供達が悲しがった事を思い出します。作り始めの巣を見つけるとどうか、雛が無事に育ちます様にと祈っています。暖かく見守りたいですね。



電線に泊まるツバメ



子育てをするツバメ



ツバメが来てくれることを楽しみにしている方からの感想もたくさんいただきました。

- ・私がここに引っ越して来てから、毎年、ツバメが来ていました。時には来たかと思ったら、巣に居なくなっていて、悲しい年もありましたが、今年は来てくれて家族みんなで喜んでます。
- ・今年は燕の飛来が遅く、心配していました。3月中に見掛けた年もありましたが、その後雪が降った事だったので見えて可愛そうでした。今日、見かけた燕はお隣さんの燕です。我が家の燕くんは 昨年、子育て中の巣が落下してしまい、結局2世が誕生せずに帰って行きました。我が家の燕くん！今年も来てくれるかなあと、待ちわびています

一方で、ツバメがくることで不衛生になるため困っている方もいらっしゃるようです。巣の下に段ボールを置いたり、巣が作られている下に一時的に板や箱を設置することでフンを片づけやすくするなどの工夫で被害を防ぐことができます。ツバメも巣を作る場所が少なくなり生息数が減少していると言われていいますので、共存することが出来るといいですね。



報告者の方が巣の下のダンボールを設置した様子



報告者の方が送ってくれた巣の下の受皿を設置した様子



ツバメの子育てを楽しみにしているものの、天敵にやられてしまうといった報告も多くなりました。

- ・数十年来、来翔しているが近年、数年に一度はカラスに攫われてしまって悲しい思いをしている。今年は今のところカラスが出没していない様子で無事の産卵、抱卵、巣立ちを楽しめそうです。
- ・毎年巣を造りひながかえるがモズにやられてしまいます。
- ・今シーズン、2回もカラスの攻撃を受けたにもかかわらず、また 卵を抱いている様子を見て、なんとか巣立ちまで見届けてあげたくなり、防護ロープを設置してみました。毎日、無事を祈っています。
- ・7月1日五羽のヒナが無事巣立ちました。昨年、一昨年はヒナがモズにやられ巣立ちませんでした。モズが来ない方法が知りたいです。

カラスは巣の下や周りにロープを張ることである程度防ぐことができますが、モズは体が小さいため、ロープを潜り抜けることが多く、被害を防ぐことが難しいと言われていいます。この他にもアオダイショウなどもツバメの巣を狙っています。



報告者の方が送ってくれた巣の下にロープを設置している様子



また、ツバメに関する気づきを送ってくださった方もいました。

- ・45年～35年前はツバメは夏の間 2回子育てしていたが、近年のツバメは 2回子育てしなくなった。
- ・巣作りの際巣の大きさが近年はコンパクトになり、10年前ほどはひなの数は2～3羽は当たり前のようだったが、ここ数年は一羽しかいないようだ。

近年は田畑が減り、泥を集める場所が少なくなったことで巣が小さくなっているという報告は実際にあるようです。ヒナの数が減っている、2回子育てをする個体が減っているのは今後も見守っていく必要があります。



餌を運ぶツバメ

5回報告をくださった方や、ツバメの成長経過を報告くださった方もいました。御協力ありがとうございました。

入山辺保育園からは素敵な報告をいただきました。保育園に作られたツバメの巣をきっかけに、みんなでツバメを観察。こどもたちがツバメになってくれました。

入山辺保育園 うさぎ組のツバメ物語

大好きな歌「ツバメになって」

『つばめになって』という歌の中の、「はい、スイスイスイスイ」の部分がお気に入り。みんな腕を伸ばしてジャンプしながら楽しく歌っていました。もっとツバメになって遊びたい！と、いつでもどこでもお面をつけてつばめに変身。つばめごっこを楽しんでいました。



つばめになって♪



あっ、みたことある！

ツバメの絵本っていろいろあるんだね。

ツバメで食べたいな。おやつ時間もお面をつけて…



おさんぽ中よ。



おやつをどうぞ。

ツバメの巣だ！



巣作りが始まったよ。

保育園にツバメの巣を発見！小さな草や土を集めて巣を作る様子にくぎ付けの子ども達が部屋に戻って始めたことは…？



巣づくりが始まったよ。



無事に巣が完成☆カラスに食べられないようにカラス除けもつけています。



巣の中にはかわいい卵も

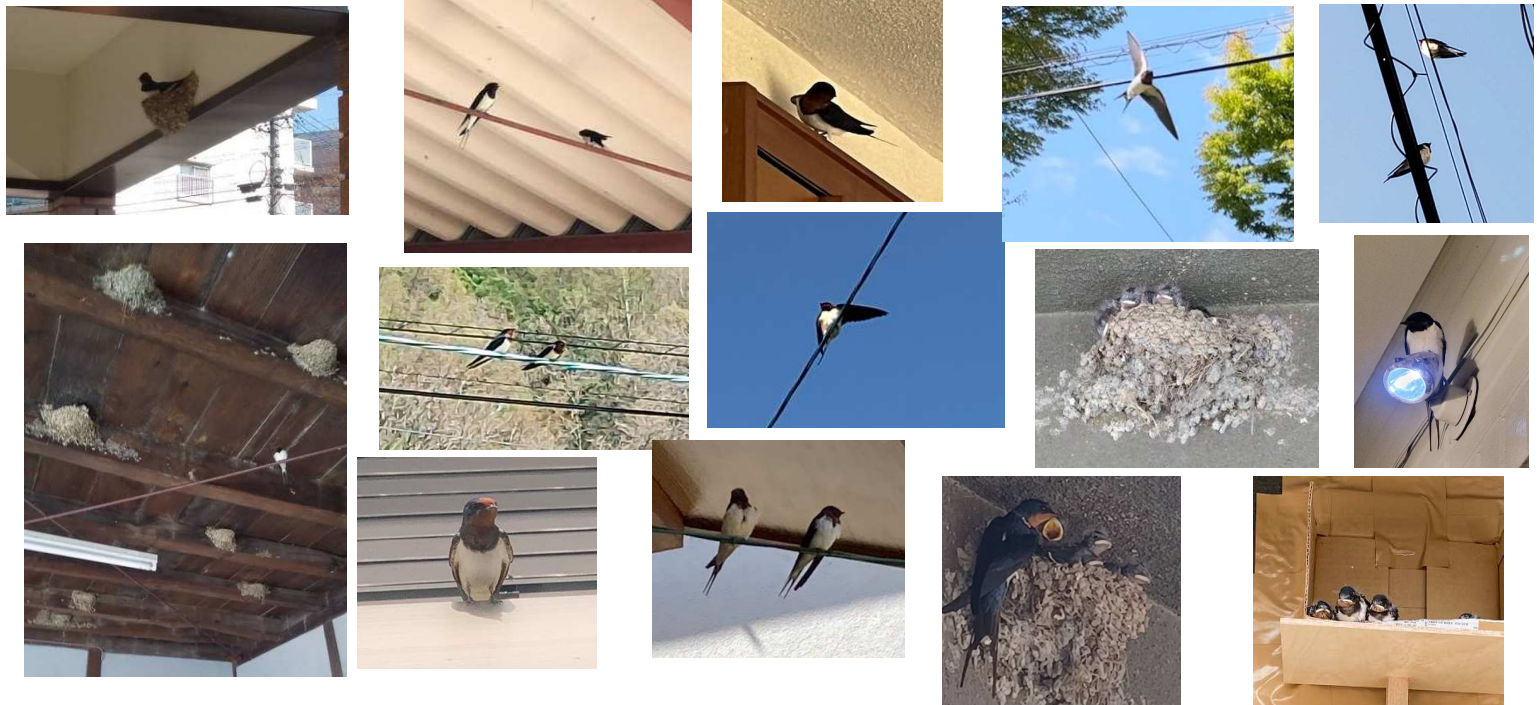


みんなが入れる大きな巣も作ったよ。

かわいい10匹のツバメ報告でした☆



報告者のみなさんから約450件の写真報告がありました。いただいた写真の一部を紹介します。



今回の調査では多くの報告があったツバメですが、人間の活動による自然環境の破壊、田んぼなど里地の減少、我々の住宅の変化など様々な原因で減ってきていると言われています。このままツバメが減るとツバメによって食べられていた虫が増えてしまい、農作物が虫に食べられるなどの影響が出てくるかもしれません。生きものは絶妙なバランスの中で皆生きています。身近にいる生きもののバランスが崩れると私たちの暮らしにも影響を与える可能性があります。

この調査を通して生きものに興味を持った方は、どうすればツバメなどの生きものと共存していけるのか自分なりに考えて、ぜひ実践してみてください。直接ツバメを守る行動ではなくても、ごみの分別をしっかりとる、使い捨てのものを何度も使えるものに変えるなど、環境を意識した行動をとることも生きものを守ることに繋がります。自分にできることから実践してみましよう。